

令和 8 年度 全国学力・学習状況調査

小坪小学校の結果の分析及び考察

令和 8 年 4 月に小学 6 年生と中学 3 年生を対象に行われた全国学力・学習状況調査の結果の概要について次のとおりお知らせします。

1. 教科別結果から

平均正答率（％）	国語	算数
小坪小	60	58
神奈川県	61	58
全国	60.9	56.0

国語

- ・「【林さんのメモ】にどのように整理したのかを説明したものとして適切なものを選択する」の問題では、正答率 76％で、全国平均より 21 ポイント上回った。情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができていると捉えられる。
- ・「〈音声〉の下線部の工夫の効果として適切なものを選択する」問題では、正答率 56％で、全国平均より 9 ポイント下回った。資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫するということに課題があると捉えられる。

今後の求められる取組

学習の時間の中で、話し合い活動などの言語活動を増やし、自分の考えを友達に伝える場面を多く設定する。また、国語に限らず、他教科とも関連させて「課題を見付け自分たちで解決する学習活動」を積極的に取り入れ、主体的な活動にできるよう指導していく。

算数

- ・「直方体の箱の形の六つの面のうち、四つの面が示されたとき、残りの二つの面の縦と横の長さを書く」問題では、正答率 74％で、全国平均より 11 ポイント上回った。直方体の箱の形を構成する面について理解できていると捉えられる。
- ・「ペンギンがいる二つの広場の混み具合を求める式の意味について、正しいものを選ぶ」問題では、正答率 21％で、全国平均より 15 ポイント下回った。単位量当たりの大きさを求める除法の式の意味を理解し、その商から二つの広場のどちらの方が混んでいるのかについて判断することに課題があると捉えられる。

今後の求められる取組

式や言葉を用いて記述する力をつけるために、式と図を関連付け問題のイメージを具体的に想像させたり、自力解決する時間を十分に確保したりして考える場面を設定する。また、基本的な知識や技能習得を目指して、丁寧に指導していく。

2. 児童質問紙から

「国語の勉強は好きですか」の問いに「当てはまる」と答えた児童の割合は 59％と県と全国平均を上回った。一方で、「国語の勉強は将来、社会に出たときに役に立つと思う」と答えた児童の割合は 87％と、県と全国平均を下回った。教科への興味関心の高さを生かし、より主体的な学びを促していき、実生活に繋がるように指導したい。

さらに「あなたは自分がインターネットを使って情報を収集する（検索する、調べるなど）ことができるといいますか」と答えた児童の割合は全国平均の 85％より 4 ポイント上回った。今後も、ICT を活用しながら、児童が自己調整を繰り返しながら学びを続けられる学習を展開していく。